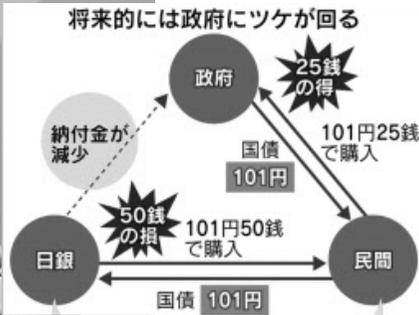
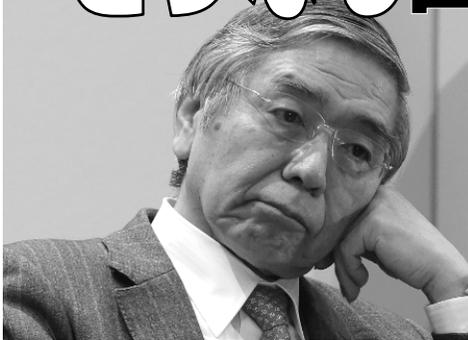


日銀の国債保有528兆円

どうなる出口戦略なき



2013年1ドル97円が現在138円に！ 円価値3割下落

上がらない実質賃金・物価高騰



第2次安倍政権で内閣官房参与を務めた米イェール大名誉教授の浜田宏一氏

を第2次安倍内閣の内閣官房参与に起用。また同時にヘリコプターマネーの提案者であるバーナンキ氏が2016年7月に来日し、安倍総理と真水で10兆円規模の経済対策などの意見と議論を交わす。またノーベル賞経済学者ジョセフ・スティグリッツ氏とポール・クルーグマン教授を日本に招待し、大手マスコミに公開しアピールした。

2013年3月に日銀黒田東彦総裁が誕生し、2%の物価上昇目標の実現を目指して4月より大規模な金融緩和を行った。2013年1月日銀の国債保有率は11・6%であったが、在任する9年間の今年6月現在、国債引き受け残高は528兆円と国債残高の50・4%を占める。

一方、令和元年度末に、国と地方合わせた国の債務残高は1329兆円。内訳は、国債938兆円、借入金74兆円、国庫短期証券98兆円、独法等債務16兆円・地方政府債務183兆円、社会保障基金債務20兆円と膨らんだ。

また、2021年度は国と地方自治体合わせて42兆7000億円の赤字。岸田政権は財政健全化の旗を降ろさずこれまでの目標に取り組み、2025年にプライマリバランス(借金と返済の帳尻を合わせ)との目標の方針は変わらないと発表。

全8ページ中,2ページ表示

〈低金利政策で0.25%維持〉

金融緩和と国債買入れ

どうする財政赤字 アベノミクスの検証は？



アベノミクス3人衆 安倍元総理・麻生副総裁・財務大臣・菅官房長官

・指し値オペで円安加速

2021年度の国の税収は67兆379億円、前年度比6兆2000億円の増収となり、2年連続で過去最高を更新する一方、新規国債発行額が57兆6000億円という厳しい現実は消せない。

アベノミクスの異次元の金融緩和で、先進各国との金利差を生み円安は加速する。日銀の黒田東彦総裁は「粘り強く緩和を続ける」と頑なな姿勢を変えようとせず、来年4月に10年間の任期を終える。

夏の参院選は防衛力強化への期待と野党の分裂もあり、自民党が圧勝。3年後の衆院議員の任期と参院議員半数の改選まで、黄金の3年間がある。今回改選された参院議員は6年間の任期があり、3年後、5年後を見据え、財政再建計画やエネルギー問題など山積する重要課題の対策を先送りせず、国民に示していただきたい。

〔文責：嵯峨十郎〕

2013年第2次安倍政権の下、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略。一方、黒田日銀総裁は2%の物価上昇を2年程度で達成すると異次元緩和を開始。

財政赤字を積極容認するアベノミクスの指南役にイエール大学教授である浜田宏一氏